



# 九州の地域交通に関する シンポジウム



コロナ禍前後でヒトの生活や移動は大きく変化し、人口減少とあいまって、公共交通機関の経営は厳しくなっている。一方で、アフターコロナでインバウンド旅客が戻る中、通勤・通学客と観光客に混雑などの負担を大きくかけることなく移動してもらう必要もある。これらは地域交通に共通の課題であるが、九州の公共交通機関では、課題解決に向けて新しい取り組みが始まっている。バス会社と鉄道会社の共同経営、バス会社の運行体制の一体化、AIを活用したデマンドバスの運行、さらには MaaS の取り組みである。このシンポジウムでは、これらの事業に関与している行政や企業の担当者に登壇いただき、九州の地域交通の将来展望を議論する。

## 日時

令和6年

12月1日 日

14:10 ▶ 16:10

## 会場

九州産業大学  
1号館2階 S201

事前申し込みは不要です。  
どなたでも自由に  
ご参加いただけます。

## 登壇者

### 基調講演 「共創でつくる九州 MaaS」

九州経済連合会地域共創部参事  
九州 MaaS 協議会事務局長

木下 貴友 氏

### パネルディスカッション（報告順）

九州 MaaS 協議会事務局長

木下 貴友 氏

国土交通省九州運輸局交通政策部交通企画課長

鈴木 貴大 氏

九州産交バス株式会社共同経営推進室課長

今釜 卓哉 氏

西日本鉄道株式会社自動車事業本部未来モビリティ部部長  
ネクスト・モビリティ株式会社代表取締役社長 兼 COO

日高 悟 氏

神戸大学大学院海事科学研究科准教授

水谷 淳

### オーガナイザー

佐賀大学経済学部教授  
アジア成長研究所客員教授

亀山 嘉大

## 主催

応用地域学会 <http://www.arsc.org>

## お問い合わせ

応用地域学会 第38回研究発表大会 実行委員会  
(九州産業大学経済学部 広瀬研究室)  
[arsc2024ksu@gmail.com](mailto:arsc2024ksu@gmail.com)